

校章の由来



校名の「鶴」を图案化したものである。鶴は、その姿が優雅で気品があり、古来、日本人の心や日本の美の象徴として、また、高潔で親和力に富む瑞鳥として、尊重されている。校章は、今まさに大空に舞い上がろうとして羽ばたく若鶴の姿を表している。

神奈川県立 上鶴間高等学校 校歌

「**巨いなる鳥のように**」 作詞 阿部正昭
作曲 熊沢住子

mp

1.さがみのだいち つーらぬい
てひーとすじのせいしゅんのみ
ちうたごえはあかるくひびきあしたのみー
のりもーとめながらいま
とびたとうおおおいなるとりのよう
に2.みどにあああああかみ
つるまこうこう

1.2. *mp* 3. *mp* *mf*

二、
三、

ああああああああああああ
巨いなる鳥のように
いま空に舞う
上鶴間高校

相模の台地貫いて
一筋の青春の道
歌声は明るく響き
明日の実り求めながら
巨いなる鳥のよう
に
いま飛びたとう
巨いなる鳥のよう
に
緑の原野ひらかれて
育ちゆく豊かな心
友情の輪に結ばれて
みなぎる希望たかめながら
巨いなる鳥のよう
に
輝く生命たたえながら
風に鳴る自由の翼
降り注ぐ光に映えて
いま羽ばたこう
巨いなる鳥のよう
に